

# 長畑ひろのり



# News vol.150

## 6月定例議会における質問①

### ・給食費の公会計移行について

この件の関連として、平成27年9月定例議会にて「学校給食費の予算計上について」の質問をしています。その主な内容は以下の通りです（長畑ひろのり News vol.098 より）。

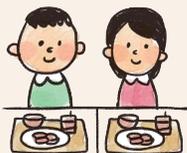
【長畑質問】 地方自治法質疑応答集に『地方自治法第210条の規定により、食物の原材料費等または委託料を当該市町村の歳出予算に計上して支出するとともに、これにともなって徴収する学校給食費についても当該市町村の歳入予算に計上しなければならないと解される。』と書かれている。

つまり、本市の小中学校における学校給食の給食費は、本市の歳入歳出予算に計上すべき項目に当てはまると考えるが、  
【教育部長答弁】 過去の定期監査において、代表監査委員より公会計に移行すべきではとの指摘を受け調査検討を行った。結果、収入は各校と保護者との直接的なやり取りにより効率的に進めている事、また、支出は適正に業務を遂行している事、加えて公会計に移行された自治体では収納率が低下している事がわかった。そのため、従前通り教育長を会長に、学校長、教諭、PTA、医師会、学校給食センター職員等で組む学校給食会の私会計により会計業務及び管理運営をしている。

【長畑質問】 その手法で法的に問題はないのか。

【教育部長答弁】 違法ではない。

【長畑要望】 教育委員会としては違法でない判断しているのだろうが、私はそう考えない。改めて法に照らした上で、本市代表監査委員の指摘通り公会計へ移行し適切な会計処理がなされるよう要望する。



以上が平成27年のやりとりで、今回の主な質問は以下の通りです。

【長畑質問】 公会計にした時のメリットとデメリットは。

【教育部長答弁】 会計処理の透明性が確保される、予算措置される事で安定した事業運営が図れる、教職員の負担軽減等のメリットがある。しかし、事務を集約するためのシステム導入及び管理運用に係る人的措置に伴う費用の発生等が課題。

【長畑質問】 保護者が各小中学校の指定する金融機関へ口座振替するのは分かる。しかし、給食費だけを学校長名の給食

専用口座に移し、また銀行に出向いて四條畷市学校給食会会長の口座に入出金するという流れ、この口座から口座へ点々と動くのが理解できない。給食費だけを、直接四條畷市学校給食会会長の口座に振り込まない理由は。

【教育部長答弁】 直接学校の方から市学校給食会会長名義の口座に振込処理を行うと、口座名義が異なることから手数料が生じるため、現状の入出金処理の形態を取っている。

【長畑質問】 手数料はいくらか。

【教育部長答弁】 1回当たり220円。

【長畑質問】 220円、この口座から口座の移動の理由が。給食費が市の監査も通らない私会計の中で口座を渡り歩いているが、このことで何か問題は起こらないのか。

【教育部長答弁】 リスクは想定される。

【長畑要望】 文部科学省の学校給食費徴収・管理に関するガイドラインにはこう書かれている。

学校給食費は、当然のことながら余計に徴収しているものではありません。このため、滞納額が増加した場合や天候不順等により野菜等の生鮮食材の価格が高騰した場合、食材調達費に不足が生じることとなります。特に私会計下で学校給食費を徴収・管理している場合には、食材調達費に不足が生じると、使用する食材やおかずを減らす、あるいは、給食の回数を減らすなどの対応が行われてきました。

学校給食費の公会計化を実現すれば、一会計年度の食材調達費の所要額は、地方公共団体の予算の中で適切に確保されます。生鮮食材の価格が高騰した場合においても、同じく予算での対応が可能となります。これにより、安定的に学校給食を実施することができます。

内容の紹介は途中で終わるが、実際のところ本市において食材調達費の不足を補うために、おかずを減らすなどは起こっていないと信じていた。しかし、新型コロナウイルス感染症の第2波が来た時、食材を給食センターに納入した途端、大阪府より休校要請が出た場合はどうするのか。返品や後に使える食材があるかも知れない。しかし、そうでない食材にかけた費用が無駄になれば、その費用を補う措置は必ず必要になってくる。私会計は、何か事が起これば対応を苦慮しなければならない不安定な中でのやり繰り。不正の温床にもなりかねない。一刻も早く公会計へ移行することを要望する。

毎月発行している“長畑ひろのりNews”を、約半年ごとに送っています。送付の必要な方は、送付先をFAXもしくはe-mailにてお知らせ下さい。

長畑ひろのり事務所 FAX 072-877-1280  
e-mail sky@nagahata.jp



# ・コロナ禍、本市の計画について

## 個別施設計画

【長畑質問】この1月に発行された「四條畷市個別施設計画【公共施設】(2019~2050年度)」(以下、個別施設計画)をまとめる上において、新型コロナウイルスに限らず感染症についての配慮はあったのか。

【総務部長答弁】公共施設等総合管理計画に基づく施設ごとの具体的な取組方針や整備計画等を示すものであることから、感染症に関する項目を盛り込む予定はない。

【長畑質問】感染症対策も取り入れなければならないのでは。

【総務部長答弁】新たな生活様式が浸透するとの想定のもと、施設の設計時に必要な対策を盛り込む。

【長畑質問】個別施設ごとであればそれで良いが、もっと全体の、配置計画から感染症対策を考える必要はないのか。

【総務部長答弁】公共施設がこれまで担ってきた役割や地域における特性なども考慮し、配置や規模に関して検討していくべきものと認識している。また、感染症だけに限らず、避難所に指定している施設については、一定の地域ごとに必要な施設となるため、避難所機能を有する公共施設の配置についてはその特性を踏まえ検討する。

【長畑意見】個別施設計画が示された今年の1月と違い、感染症についても計画段階から配慮しなければならないと思う。

自然災害時の避難先として公共施設を考えた場合、避難所内の動線やゾーニングについては、施設の設計時に必要な対策を盛り込めば良い。しかし、もっと視野を広げて個別施設計画を考えて欲しい。つまり、避難時、個々の施設においての動線やゾーニングではなく、市域全体の動線とゾーニングを個別施設計画の中で配慮して頂きたい。

そういう視点でこの計画を改めて見ると、感染症対策として避難所内の個々の滞在スペースが計画時の数倍必要なこと、もし避難された方に感染者が多数出た場合には施設全てを感染者に割り振る必要があることも考えなければならない。それに加え、長期避難が必要な場合は、授業再開を考え長期にわたって学校施設を使うべきではない。その観点も踏まえれば、市民総合センターは非常に重要な施設であるのは間違いなく、四條畷南中学校跡地にも避難所機能を持った複合施設の建設は以前にも増して必要と考える。

以上、四條畷市公共施設再編検討会に影響が出ないよう、要望では無く意見とする。

## デマンドタクシー

【長畑質問】4月1日よりコミュニティバス西部線において、「バス車両からタクシー車両への変更」と「デマンド運行の導入」による実証運行を開始しているが、新型コロナウイルスを考えると3密が守られないのにも関わらず実証運行をしているのは問題。実証運行と今後の計画は再検討が必要では。

【都市整備部長答弁】新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外出自粛が要請されていた影響などから、効果検証を行うた

めのデータを得るには至っていない。このような状況だが、予定している実証運行を1年間通して実施することにより乗車データの蓄積を図りつつ、市民生活の様々な変化も見据えながら西部地域における運行計画の検討を進める。

【長畑質問】運行するにあたっての感染症対策は。

【都市整備部長答弁】国が示した新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針において、公共交通は、物流・運送サービスの分野として、社会の安定の維持の観点から緊急事態宣言時に事業の継続が求められる事業者となっており、本市のデマンドタクシーについても緊急事態宣言中の運行を継続していた。その期間の感染症対策としては、車内の換気と1便ごとの消毒を行っている。

【長畑質問】見ず知らずの人と一緒にいる時もあり、乗る時には体温も測らず、クラスターとなっていたかも知れない。

効果検証を行うデータを得るに至っていないし、利用が増えるのは期待できないのでは。新型コロナウイルスが無ければ良い案だと思う。しかし、アフターコロナで生活が一変している中、**高齢者等にはタクシー料金の一部助成、もしくは、初乗り料金を助成すとか、利用料金の何割かを割り引きするタクシーチケットを配布すとか、個々で乗れる様な形**へシフトした方が良いと思うが。

【都市整備部長答弁】まずは現在行っている実証運行の結果をもって、効果検証を図ったのちに判断する。

【長畑要望】実証運行の結果による効果検証と言われるが、結果を待つ意味があるとは思わない。

新型コロナウイルスの第2波が来た時、デマンドタクシーを使って病院へ向かわれる方が出たとしても不思議ではない。そういう事が少しでも予想されるのであれば、感染拡大を防ぐためにデマンドと言う乗り合いの形を取るのではなく、個々での移動を促す、先ほど提案したタクシー料金助成等の転換も必要ではないか。早急に運行形態の議論をして頂くよう要望する。

150号

2007年5月より市議として活動を始め「長畑ひろのりNews」を発行

そのNewsも  
今号で  
なんと  
なんと

なんと  
なんと  
なんと  
150号

選挙やコロナ自粛等で発行出来ない月もありましたがここまで続けることができましたのも市民皆様方のお陰です

今後も本市を好きになって頂きたく発行を続けていきますので宜しくお願いします

I Love ♥ SHIJONAWATE

